

『学生を変容させる初年次教育』

—河合塾「初年次教育調査」から見えてきたもの—

シンポジウム

河合塾 主催

有料
(要申込み)

- ・初年次教育の核心的課題である「学生の態度変容」の実現
- ・受動的学習態度から能動的学習態度への転換
- ・命題知の習得から活用知・実践知への習得へ
- ・その変容を実現するために、初年次教育はいかにあるべきか
- ・全国1084学部(一部学科含む)アンケート調査と33大学ヒアリングから見えてきたもの

■名古屋会場

2009年12月25日(金)

13:00~17:50 河合塾 千種校

■大阪会場

2010年1月7日(木)

13:00~17:50 河合塾 大阪校

■東京会場

2010年1月8日(金)

13:00~17:50 河合塾 麹町校

(※3会場の内容は同一ではありません)

シンポジウム概要

■第1部 河合塾からの報告

大学の初年次教育の主なねらいは、アカデミックスキルの習得だけでなく、高校生から大学生への「学生の態度変容」です。全国1084学部(一部学科含む)アンケート調査と33大学ヒアリングから明らかになった初年次教育への取り組みを分析・紹介するとともに、学生を送り込む側から期待する初年次教育の在り方を提起します。

■第2部 大学からの報告

初年次教育調査から明らかとなった、先進取り組みを行っている大学からの報告。各会場それぞれ異なった2大学からの報告があります。

■第3部 シンポジウム

名古屋会場は松下佳代氏(京都大学)、大阪会場は三宅なほみ氏(東京大学)、東京会場は山田礼子氏(同志社大学)からの問題提起を受け、その後、会場での全体討議を通じ初年次教育の在り方について議論を深めます。

プログラムとスケジュール

日時/会場	12月25日(金)/名古屋会場	1月7日(木)/大阪会場	1月8日(金)/東京会場
12:15 ~	— 開場 —	— 開場 —	— 開場 —
13:00 ~ 14:10	■第1部 河合塾からの初年次教育調査報告	■第1部 河合塾からの初年次教育調査報告	■第1部 河合塾からの初年次教育調査報告
14:20 ~ 15:40	■第2部 大学の事例研究 事例1: 高知大学・農学部 事例2: 金沢工業大学	■第2部 大学の事例研究 事例1: 信州大学・繊維学部 事例2: 嘉悦大学・経営経済学部	■第2部 大学の事例研究 事例1: 三重大学 事例2: 名古屋商科大学
15:55 ~ 17:45	■第3部 シンポジウム① シンポジウムの問題提起 「新しい評価のパラダイム—パフォーマンス評価の観点から」  <松下佳代氏> 略歴: 専門は教育方法学(能力論、学習論)、大学教育学。京都大学博士(教育学)。現職: 京都大学高等教育研究開発推進センター教授。大学教育学会、日本教育方法学会理事等。1991年 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程退学。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授を経て、2004年より現職。	■第3部 シンポジウム① シンポジウムの問題提起 「知の活用のためのコラボレーション」  <三宅なほみ氏> 略歴: 研究テーマは認知科学を基礎とする学習科学。現職: 東京大学大学院教育学研究科教授、大学発教育支援コンソーシアム推進機構副機構長。1974年 東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。1982年 University of California at San Diego, Department of Psychology, Ph. D.	■第3部 シンポジウム① シンポジウムの問題提起 「日本における初年次教育10年を踏まえ、次の展望は」  <山田礼子氏> 略歴: 研究テーマは高等教育論、継続教育論(教育社会学)。現職: 同志社大学社会学部教授・教育開発センター所長。中央教育審議会 専門委員、初年次教育学会会長、日本高等教育学会理事等。1991年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校教育学大学院博士課程修了。1993年 同校より Ph.D. プール学院大学助教授を経て現職。
	シンポジウム② — 総括討議  コーディネーター <中村博幸氏> 略歴: 研究テーマは大学教育、教育学。現職: 京都文教大学教授、初年次教育学会理事、大学教育学会理事。静岡大学卒業後、高校教諭・短大・大学教員を通じて、基礎教育の実践及び実践研究を行う。	シンポジウム② — 総括討議  コーディネーター <中村博幸氏> 略歴: 研究テーマは大学教育、教育学。現職: 京都文教大学教授、初年次教育学会理事、大学教育学会理事。静岡大学卒業後、高校教諭・短大・大学教員を通じて、基礎教育の実践及び実践研究を行う。	シンポジウム② — 総括討議  コーディネーター <中村博幸氏> 略歴: 研究テーマは大学教育、教育学。現職: 京都文教大学教授、初年次教育学会理事、大学教育学会理事。静岡大学卒業後、高校教諭・短大・大学教員を通じて、基礎教育の実践及び実践研究を行う。
17:50	— 閉会 —	— 閉会 —	— 閉会 —

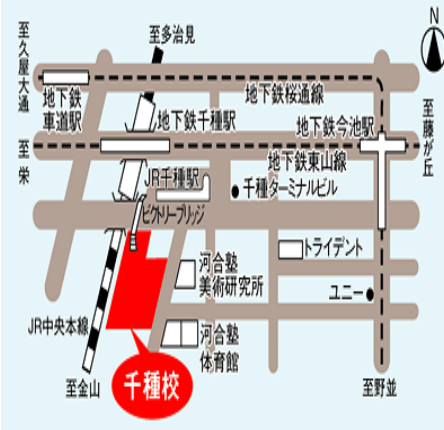
あるべき初年次教育の評価ポイントは何か

- 学生に問題を投げかけ考えさせる仕組みがあるか。
- グループワークを通じてコラボレーション能力、コミュニケーション能力を高める仕組みがあるか。
- 受動的学びから能動的学びへの転換を促す仕組みがあるか。
- 学生に自身で目標設定させ振り返らせる、自律を促す仕組みがあるか。
- 教員が学生の自律化プロセスに関わる仕組みがあるか。
- 全学生に一定水準の初年次教育を提供する仕組みがあるか。

会場ご案内

<名古屋会場>

河合塾千種校 南館2F(テルファイホール)
名古屋市千種区今池2-1-10



JR中央本線千種駅・地下鉄東山線千種駅4番出口・市バス「千種駅前」より徒歩1分

<大阪会場>

河合塾 大阪校 S館3F (301教室)
大阪市北区豊崎 3-13-1



・地下鉄御堂筋線中津駅4号出口より徒歩2分
・阪急梅田駅茶屋町口より徒歩6分
・阪急中津駅より徒歩6分
・JR大阪駅より徒歩11分

<東京会場>

河合塾 麹町校8F(テルファイホール)
東京都千代田区六番町1-3



・JR総武線市ヶ谷駅より徒歩3分
・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅3番出口より徒歩3分
・JR中央線・総武線四ツ谷駅麹町口より徒歩5分
・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅1番出口より徒歩6分
・東京メトロ有楽町線麹町駅6番出口より徒歩2分

申込方法(定員になり次第締切りさせていただきます) / お問い合わせ

【お申込み期間】名古屋会場 : 2009年11月9日(月) ~ 2009年12月22日(火)17:00

大阪・東京会場 : 2009年11月9日(月) ~ 2010年1月5日(火)17:00

【参加料(資料代含む)】おひとり様1会場につき ¥10,000(当日お支払いください)

【お申込み方法】下記WEBサイト、またはFAXでお申込みください。

WEB : <http://www.kawai-juku.ac.jp/school/event/fye/> FAX : 03(5958)1247

【お問い合わせ】電話: 03(6811)5531(※10:00 ~ 17:00) 河合塾教育研究部 担当: 朝岡、赤塚

FAX 申込み用紙: 03(5958)1247

河合塾「学生を変容させる初年次教育シンポジウム」担当 行

学校名、教育機関名、企業名:		住所:〒	
電話番号:	FAX番号:	e-mail:	
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 12/25名古屋 1/7大阪 1/8東京

※複数でご参加いただける場合

氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 12/25名古屋 1/7大阪 1/8東京
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 12/25名古屋 1/7大阪 1/8東京
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 12/25名古屋 1/7大阪 1/8東京
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 12/25名古屋 1/7大阪 1/8東京

■本申込書でお送り戴きます情報(個人情報含む)は、お申込みのシンポジウムの運営についてのみご利用させていただきます。